

令和7年度 長井市立西根小学校 学校経営大綱

1 学校教育目標

心身ともに健康で、確かな学力をもつ子供

2 求める子供像

- (1) 主体的に学習し、確かな学力をもつ子供
- (2) 自律をめざし、思いやりのある子供
- (3) 明るく健康で、心身ともにたくましい子供
- (4) ふるさとを知り、ふるさとを大切にする子供

【刻 歩 極 頂】

読み；こくほ きょくちょう

意味；一歩一歩の歩みを大切に

頂上にたどり着く

会言葉「気づき 考え 実行する」

【西根っ子のめあて】

- | | | |
|---|----|---------|
| あ | …… | あきらめない |
| い | …… | いのちを大切に |
| う | …… | 美しい心 |
| え | …… | 笑顔であいさつ |
| お | …… | おもいやりの心 |

3 求める学校像

- (1) 子供たちが明日も登校したいと思える学校
- (2) 保護者が登校させたいと思える学校
- (3) 保護者や地域とともにある学校
- (4) 教師が教育活動にやりがいを感じる学校

4 学校経営の方針

- (1) 第7次山形県教育振興計画、おきたまの教育、長井市教育振興計画、長井市学校教育の重点等を基盤に、本校の自然的・歴史的・文化的・人的環境を生かした教育を推進する。
- (2) 子供たちの安全・安心を第一に、危機管理の徹底を推進する。
- (3) 「教育の村 西根」の教育力を生かし、家庭・地域との連携・協働を一層強め、スクール・コミュニティの実現に向け、学校運営協議会と地域学校協働本部事業を核に、社会に開かれた教育課程を推進する。
- (4) 一人一人のよさを認め合い、自尊感情を高めるとともに、主体的・対話的で深い学びのある授業を推進する。
- (5) 一人一人の特性や個性を尊重し、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育を推進する。
- (6) 教職員が学び合い、支え合い、若手職員の育成に努めながら、めりはりのある教育課程を確実に実施するとともに、学校の働き方改革をいっそう推進する。

5 本年度の重点

(1) [主体的に学び、表現する力を高める授業づくり]

重点1 一人一人が主役となり、自分事として思考し、表現する授業の実現

重点2 「考えたい！」と思える課題設定、対話を生かした協働的な学び、深い学びを実感できる振り返りの過程の充実

重点3 一人一台端末の効果的活用・読書活動・授業と関連付けた家庭学習の充実

(2) [思いやりと自尊感情を育む関係づくり]

重点1 生徒指導の実践上の視点を生かした授業や、一人一人が大切にされる学級づくりを通して自己肯定感と自己有用感の育成

重点2 児童理解に基づく、課題や困り感を抱える子供への組織的・機動的な支援の充実

重点3 あいさつ、対話、認め合う場の設定など、日常的な「心地よいコミュニケーション」を通して温かい人間関係づくり

重点4 違いを認め、多様な個人の可能性を最大限に引き出す特別支援教育の推進

(3) [健康でたくましい心と体づくり]

重点1 地域の実状を踏まえた、より現実的で実効性の高い安全・防災教育の実施と危機対応能力の育成

重点2 子供の実態や課題を捉え、体力・運動能力の向上につながる教科体育の充実

重点3 ねらい・方法・時期や期間を明確にした、心身の健康づくり、いのちの学習、食育の充実

(4) [ふるさと西根を愛する心づくり]

重点1 地域の教育力と魅力ある地域の宝（人材・学習材等々）を最大限生かした、発見・体験・探究・発信・感謝のある学習活動の創造と教育課程の編成

授業を学校経営の中核に

○学校研究の日常化

研究主題：主体的に学ぶ子供の育成

○生徒指導の実践上の視点を生かした授業

視点：①自己存在感 ②共感的な人間関係 ③自己決定の場 ④安全・安心な風土

6 長井市の重点を踏まえた取り組み

(1) 確かな学力の育成

- ① 学校研究を核として、主体的に学ぶ子供の育成を目指した授業改善
 - ア 学習課題・問い合わせを把握し、見通しをもつ
 - イ 問題解決しながら、知識技能を習得し、問題解決に必要な能力を身に付ける
 - ウ 振り返りを通して、新たに次の活動の見通しをもつ
- ② 知的好奇心や豊かな感性を育む読書活動の推進
- ③ 算数ステップテスト、ぐんぐんタイム等、学びの基本を大切にした取り組み
- ④ 「個別最適な学び」の実現に向けた一人一台端末の活用と実践力の向上
- ⑤ 長井市外国語推進計画に基づき、小学校としての英語力向上
- ⑥ 教科体育の充実と体を動かして遊ぶ楽しさの体験

(2) 多様性の尊重と特別支援教育の推進

- ① 特別支援教育の校内研修を行い、教職員の専門性を高める
- ② 「西根小学校いじめ防止基本方針」を基底にすえ、関係機関と連携のもとに、いじめ問題の解決に向けた未然防止、早期発見、早期対応、組織的対応
- ③ 週1回、児童理解の場を設定し、教職員間の情報交換と共通理解、早期対応
- ④ 欠席した子供や心配な子供への適切な対応、電話・家庭訪問・保護者との面談の実施
- ⑤ 「教育相談」「いじめアンケート」「ハイパーQ-U」「児童理解（子供を語る会）」を関連付けて計画的に実施
- ⑥ 様々な困り感をもつ子供へのケース会議等による組織的対応と継続的な支援
- ⑦ 家庭と連携した、望ましい生活リズムの確立とメディアコントロール

(3) 教育DXを意識した教育専門職としての力量向上

- ① 外部研修の機会を積極的に活用した校内人材の育成
- ② 一人一台端末等ICT機器の効果的な活用について、校内ミニ研修などを通した実践の共有と普及
- ③ 「メディア教育実施計画」「タブレット活用のルール」等、校内計画の見直しと更新
- ④ 機密情報や個人情報、セキュリティに関わる情報や対策の周知と共有

7 特色ある教育活動の展開 <長井の心を育む学校>

(1) 全校葉山登山

60年を超す伝統ある行事を継承する。5・6年生は勧進代コースから山頂の葉山神社、可能ならば奥の院へ、3年生は展望台付近まで、4年生は草岡コースとの分岐付近まで、1・2年生は縄文村から大石沢を目標に、西根小学校ならではの教育活動を行う。

(2) 地域が興した伝統文化の継承

地域有志が生み出した「縄文太鼓」を4年生が継承していく。校舎内にある地域体験教室を生かし、ここ西根の丘に暮らしていた縄文人への思いを太鼓の調べで表現するという、西根小学校ならではの教育活動を行う。また、3年生の「大明神桜」「昔語り」等に関する地域学習についても、児童からの発信・参画を大切にする。

(3) けん玉日本一

西根地区には、競技用けん玉生産日本一の会社があり、生活科で工場見学をするなど、つながりも深い。また、けん玉は、体力や年齢に関係なく楽しめるスポーツであり、集中力を養うことができる。「けん玉認定会」等を通して全校生で競技けん玉に取り組むといった西根小学校ならではの教育活動を行う。